



大学教育再生加速プログラム

大学教育再生加速プログラム

テーマ I (アクティブ・ラーニング) ・ II (学修成果の可視化) 複合型

最終報告書

 **関西国際大学**

テーマ I ・ II 複合型 採択校

大学教育再生加速プログラム 最終報告書 刊行にあたって

本学は平成 26 年度に文部科学省大学教育再生加速プログラム（AP）のテーマ I・II の複合型（アクティブ・ラーニングと学修成果の可視化）として選定され、6 年間の歩みを進めてきました。

これまでも本学は、教室内授業におけるアクティブ・ラーニングの推進やグローバルスタディやサービスラーニングなどの教室外体験の整備を行い、教育方法の充実を図ってきました。また、開学当初より、GPA 制度、学修支援センター、初年次教育、教育目標の明確化、ルーブリック評価、到達確認試験などを他大学に先駆けて導入・実践し、教育改革を実践してまいりました。

本学の「AP 事業」は、これらの教育実践を基盤として、インターンシップを糸口に①アクティブ・ラーニングの推進、②学生の自己評価能力向上、③学生ピアサポートの充実、④学修成果の可視化推進、⑤チューニング結果による教育プログラム改善、などを推進していくことで、「産業界と大学の学生評価の不連続の解消」に取り組んできたこととなります。

これらの取り組みの中で、評価の不連続を“解消”する大きな成果を上げたという段階にまでは至りませんでした。受け入れていただいた企業等の皆様方の多大なご協力もあり、評価観の共有に関する方法論や質的な部分では、着実に前進した手ごたえも感じているところです。

これらの成果を社会に還元し、他大学にも活用していただけるように、情報の共有・発信に努めるとともに、取り組みの中で生まれた「学修成果サマリー（ディプロマサプリメント）」の汎用化や、課題解決型ゼミナールへの展開などの大きな課題を今後も追求し、大学と社会との接続に向け尽力してまいります。引き続き皆様のご理解とご協力をお願い致します。

令和 2 年 3 月
関西国際大学
学長 濱名 篤

目 次

I 背景・課題	
1. AP事業の申請に向けて	3
2. 具体的な達成目標と事業内容	5
3. 実施体制等	12
II 各年度の活動実績と成果	14
III アクティブ・ラーニング	
1. はじめに	29
2. 本学のアクティブ・ラーニングへの取り組み	29
3. AP型インターンシップの試行的実施とアクティブ・ラーニング	34
4. キャリアチューター	41
5. AP型インターンシップを通じたアクティブ・ラーニングの課題	43
IV 学修成果の可視化	
1. はじめに	47
2. 本学の学位授与の方針と教育課程編成・実施の方針	47
3. 学修成果の可視化に関する取組	49
4. むすびにかえて～学修成果と可視化に関する成果と課題	57
V 事業成果の情報発信	
1. 学外への事業成果の普及に関わる取り組み	59
2. 学内での事業成果の共有	68
VI 今後の取り組み	
1. 事業の成果継承に向けた組織運営体制	71
2. 評価チューニングからの教育改善	71
3. 可視化ツールを改善・推進し学びを体系化	72
4. 課題解決の要素を取入れた授業・ゼミ運営への展開	73
5. おわりに	75
VII 参考資料	
1. インターンシップ案内資料	76
2. シンポジウム関連資料	82
3. 中間評価調書	114
4. フォローアップ報告書	128